

# 第3章 まちづくりの基本理念と4つの将来像

## 1 まちづくりの基本理念

### 上京新時代

### 文化と絆で未来を創る！

わたしたちのまち上京区は、自然環境と調和した生活様式など、暮らしの中に息づく多彩な文化や、学区に代表される強固な地域の絆で育まれてきた、しなやかな復元力（レジリエンス）によって、幾多の試練を乗り越え、発展し、住み良いまちづくりを進めてきました。

そして今、人口減少の本格化や地球温暖化の加速、デジタル化・産業構造の転換、厳しい京都市財政、更には新型コロナウイルス感染症によるパンデミックに対峙する中、新たな挑戦と改革の契機を迎えています。

わたしたち上京区民は、上京区の誇る文化と絆を基に、年齢・性別・国籍・障害の有無等にかかわらず、すべての区民が主人公となって心豊かに暮らせる、「誰一人取り残さない」持続可能な上京区の未来の創造に向け、新たなまちづくりをスタートします。

上京区の現状、  
世の中の潮流を踏まえ、  
わたしたちはどのような  
上京区を目指すべきか？  
基本計画の理念を  
見てみましょう！



2 4つの将来像

まちづくりの基本理念に基づき、目指すべき上京の姿を「ライフスタイル」  
 「安心安全」「まちの活力」「はぐくみ・継承」の現状と課題に従って、4つの  
 将来像で表わします。

令和という新時代がスタートし、令和4年度には文化庁が区内に移転して  
 くるというエポックを迎える上京は、令和元年の上京区140周年を機に、  
 一層強められた従来の担い手に加え、新たに広げられた多様な主体との絆を  
 中心に、みんなが自分ごととして、上京の未来を力強く創造します。



幸せを分かち合うまち



安心安全に暮らせるまち



にぎわいを創出し、  
豊かさを実感できるまち



ひとりひとりが輝き、  
希望の持てるまち

まちづくりの視点

